

報道関係者各位

株式会社日本カラーデザイン研究所
ゴールドフェスタ事務局

カラーとしての金を探求する共同調査レポート 第1弾
『日本人の金（ゴールド）に関する意識調査』
男性はディープなツヤ、女性はソフトなツヤのある金色を好む傾向
【同時調査】今の日本を表す色は「赤」と「グレー」の清濁2色

金への啓発を目的とした金に関する祭典「ゴールドフェスティバル」を運営するゴールドフェスタ事務局は、色の専門家集団である株式会社日本カラーデザイン研究所と共同で、性別・年代別から見る好きな金色の傾向などを分析した「日本人の金（ゴールド）に関する意識調査」を発表しました。

Summary

- ・男性はハードで高級感の強いディープゴールドを好み、黄みのゴールドへの嗜好が強い
- ・女性はソフトで上品なシャンパンゴールドを好み、マットな質感よりもツヤのある質感を好む

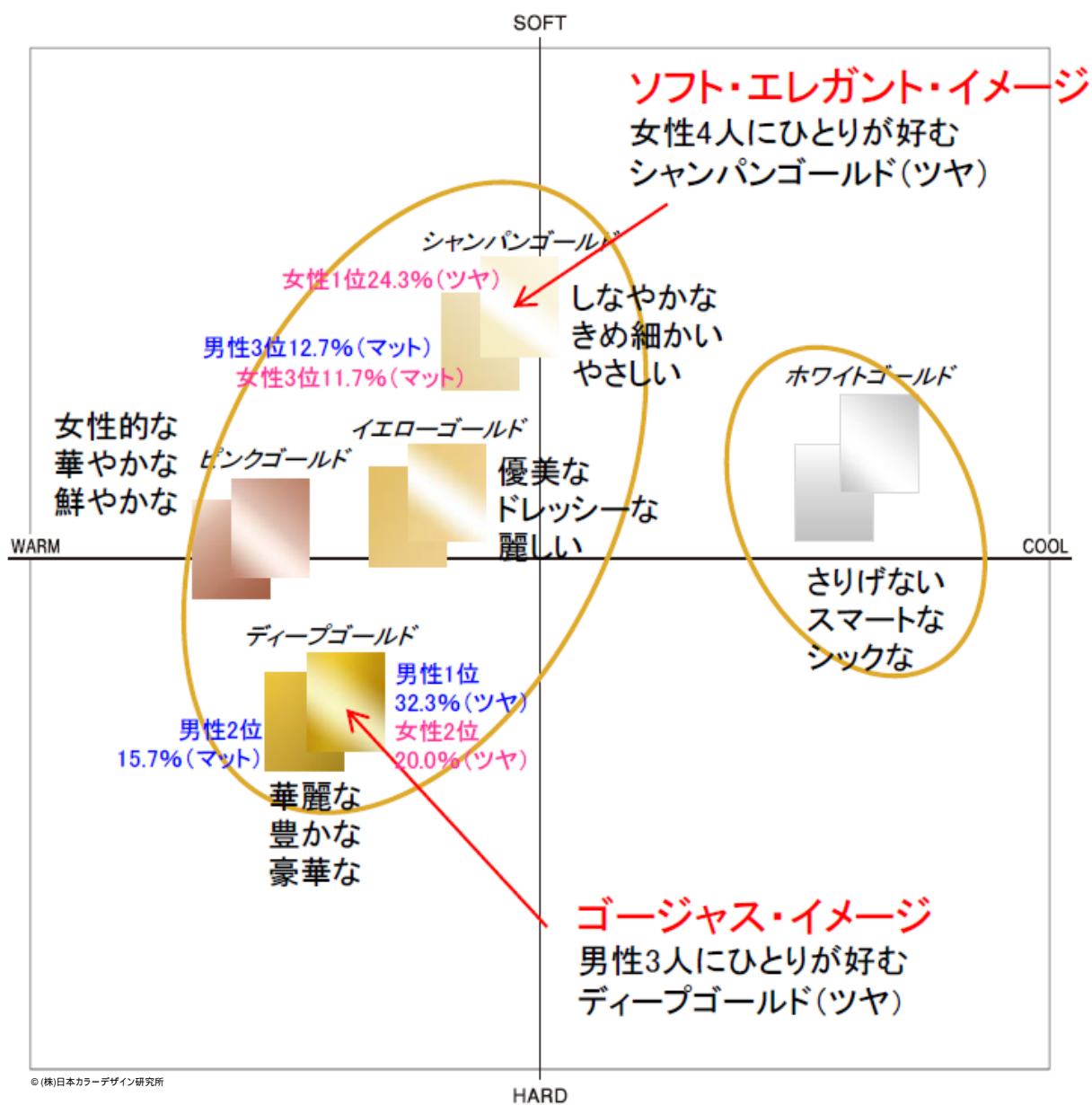
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全体	8.ディープ ゴールドツヤ	6.シャンパン ゴールドツヤ	3.ディープ ゴールドマット	1.シャンパン ゴールドマット	7.イエロー ゴールドツヤ	2.イエロー ゴールドマット	9.ピンクゴ ールドツヤ	10.ホワイト ゴールドツヤ	5.ホワイト ゴールドマット	4.ピンクゴ ールドマット
	157 26.2%	107 17.8%	78 13.0%	73 12.2%	55 9.2%	37 6.2%	33 5.5%	27 4.5%	18 3.0%	15 2.5%
男性	8.ディープ ゴールドツヤ	3.ディープ ゴールドマット	1.シャンパン ゴールドマット	6.シャンパン ゴールドツヤ	2.イエロー ゴールドマット	7.イエロー ゴールドツヤ	10.ホワイト ゴールドツヤ	5.ホワイト ゴールドマット	9.ピンクゴ ールドツヤ	4.ピンクゴ ールドマット
	97 32.3%	47 15.7%	38 12.7%	34 11.3%	24 8.0%	21 7.0%	15 5.0%	11 3.7%	7 2.3%	6 2.0%
女性	6.シャンパン ゴールドツヤ	8.ディープ ゴールドツヤ	1.シャンパン ゴールドマット	7.イエロー ゴールドツヤ	3.ディープ ゴールドマット	9.ピンクゴ ールドツヤ	2.イエロー ゴールドマット	10.ホワイト ゴールドツヤ	4.ピンクゴ ールドマット	5.ホワイト ゴールドマット
	73 24.3%	60 20.0%	35 11.7%	34 11.3%	31 10.3%	26 8.7%	13 4.3%	12 4.0%	9 3.0%	7 2.3%

全体との差で5ポイント以上

男性は、ツヤのある・なしや明るさに関係なく、黄みのゴールドへの嗜好が強く表れています。女性は全ての種類の金色について、マットな質感よりもツヤのある質感が選ばれています。

年代別傾向では、男性はどの年代でもディープゴールド（ツヤ）を最も好み、特に60代以上の男性は、イエローゴールドを含め彩度の高いゴールドを好むことが特徴。一方、女性は年代差が見られ、30代～50代までの層はシャンパンゴールド（ツヤ）を最も好み、60代以上になると順位が下がり、男性同様に彩度の高いディープゴールド（ツヤ）を選ぶ傾向が見られました。

好まれやすいゴールドとそのイメージ

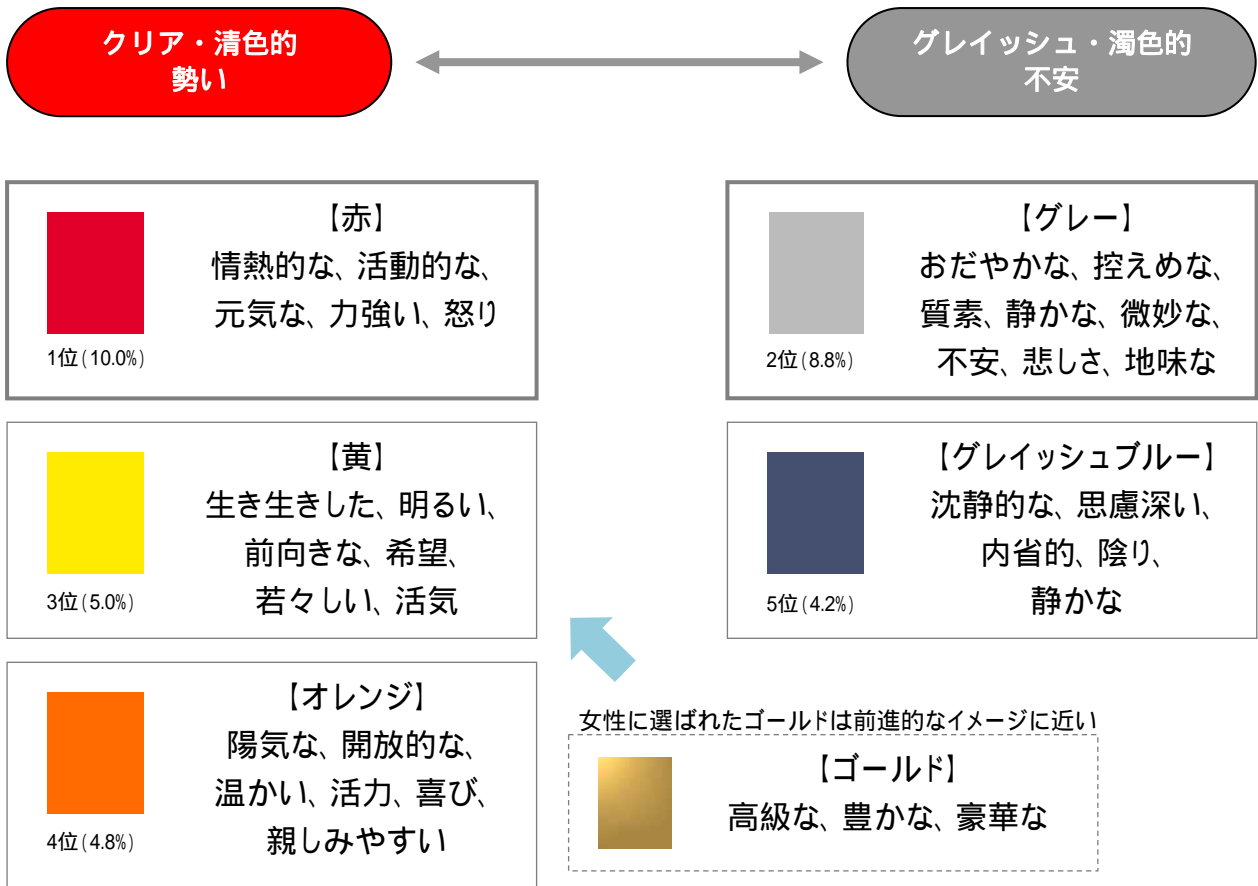


今回の結果を、WARM-COOL / SOFT-HARD の2軸で構成されたイメージスケール上にまとめたものが上図となります。

男性はよりハードで高級感の強いディープゴールドを好み、金色に対しては「華麗な」「豊かな」「豪華な」といったゴージャス・イメージを好むことが分かります。選択率で見ても、3人にひとりがディープゴールド(ツヤ)を選んでいました。それに対し女性は、よりソフトで上品なシャパンゴールドを好み、「しなやかな」「きめ細かい」「やさしい」といったソフト・エレガント・イメージの金色を好む人が多い結果となりました。

今の日本を表す色

全体結果の上位5位までを各色のイメージワードに関連させて分類し、その主な背景を以下のように考察しました。



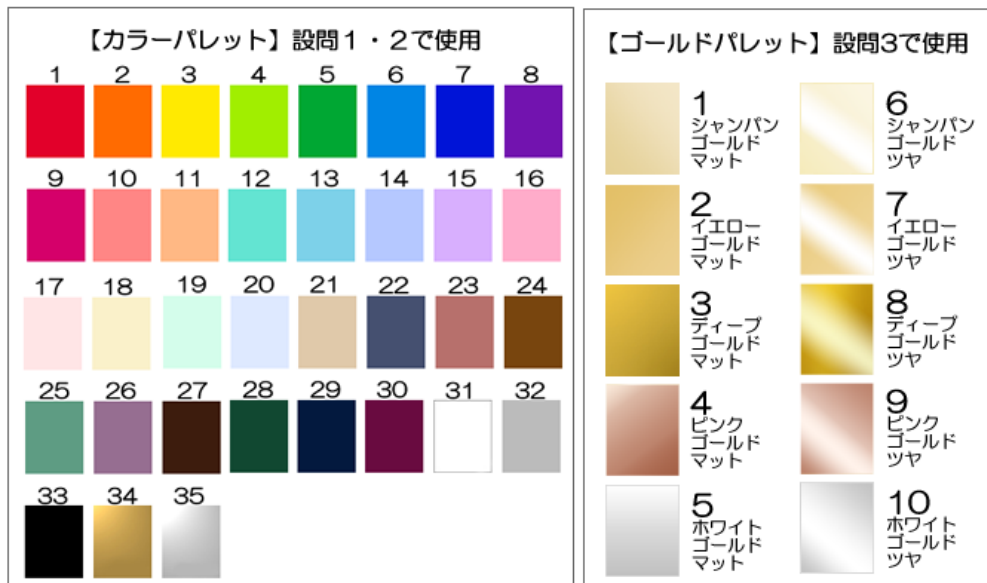
参考文献 日本カラーデザイン研究所=編
「配色イメージブック」、「心を伝える配色イメージ」

鮮やかな暖色が表す、国内の勢いと明るさ
アベノミクスによって景気が回復基調となり、株価も上昇、また2020年東京五輪が決定するなど、国内に明るく前向きなムードが広がっている。
赤、黄、オレンジといった鮮やかな暖色系は共通して前進的なイメージを持っており、これらの色が選ばれた背景には、上記動向をはじめとする今の日本の勢いが感じられる。

社会不安をグレイッシュカラーに投影
一方で、災害への不安や原発問題などは依然解決しておらず、少子高齢化、消費増税や雇用問題、食品偽装、不透明な政治への不信感など、ネガティブな要素も非常に多い。
これらの社会不安が、すっきりとしないグレイッシュカラーの2色に反映されていると言えるだろう。

調査概要

- ・調査対象 TOKYO GOLD FESTIVAL2014 申込者
30歳未満～70歳以上の男女 計600人(男性300人/女性300人)
- ・調査日程 2013年11月21日～2014年1月15日 WEBアンケート調査
- ・調査項目 1.好きな色 2.今の日本を表す色 3.好きな金色 以下カラーパレット



調査サンプル数

		年齢						合計
		30歳未満	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
男性	N	20	60	60	60	50	50	300
	%	6.7%	20.0%	20.0%	20.0%	16.7%	16.7%	100.0%
女性	N	24	93	90	60	25	8	300
	%	8.0%	31.0%	30.0%	20.0%	8.3%	2.7%	100.0%
全体	N	44	153	150	120	75	58	600
	%	7.3%	25.5%	25.0%	20.0%	12.5%	9.7%	100.0%

【株式会社日本カラーデザイン研究所】 <http://www.ncd-ri.co.jp/>

株式会社日本カラーデザイン研究所(本社:東京都文京区、設立年月日:1967年1月20日、代表取締役所長:宮岡 直樹)は、心理学的立場から色彩デザイン、消費者嗜好などの研究に基づく情報を、メーカー、流通、広告、建築など多岐にわたる業種の企業、公共団体等に提供。また独自開発した「Hue & Tone」システムや「カラーイメージスケール」は、あらゆる分野のカラープランニング、マーケティング、カラー・デザイン戦略などの課題解決に活用されています。

【ゴールドフェスタ事務局】 <http://goldfes.jp/>

ゴールドフェスタ事務局は、金への啓発を目的とした金(ゴールド)に関する祭典「ゴールドフェスティバル」を運営。第2回となる2014年度は日経マネー・ラジオNIKKEI・日経CNBC・CREAなどのメディアとも連携し、東京・品川 グランドホールに480名の参加者を集めて開催しました。事務局はキャピタル・エフ株式会社と株式会社想研による共同運営。

< 本件に関するお問合せ先 >

株式会社日本カラーデザイン研究所 開発部 田原・平山

TEL : 03-3818-0071 WEB : <http://www.ncd-ri.co.jp>

ゴールドフェスタ事務局 キャピタル・エフ株式会社 児島

E-mail : goldfes@gmail.com WEB : <http://goldfes.jp/>